

おわりに

年の瀬です。

「今年がもう終わる。」

と驚きます。この1年もあつという間でした。ざつとトピックの振り返り。

◆「改選」があり県議3期目となりました。m()m

結果は無投票でしたが、私は、選挙戦初日の「立候補届け出締め切り時間」になるまで「選挙あり」と思っていました。

選挙戦が1日で済んで、ともかくにもスタッフの皆さんの負担がちよつとでも軽くなったことが救いでした。

負託に「たえられるよう、精いっぱい頑張ります。」

◆知事選もあり杉本新知事誕生です。

私の事務所も秘書Sちゃんの旅立ちからEちゃん新加入と、新体制になりました。(二人とも教え子なので、つい昔のままの「ちゃん」付けに(、))

どうぞよろしく願います。

◆CSF(豚コレラ)発生。該当豚舎のある地区の小学校に、8年間勤めていたので、苦悩される方々のお顔が浮かび、胸が痛かったです。

熊の住宅地出沒もそうですが、山の荒れが里に伝播してきたかと憂えます。

細川かをり県政報告

第49号

金品受領問題について

【細】知事、県外で福井に対する目が非常に厳しくなっていることを、「存知か？」

【知】大変遺憾、申し訳なく感じている。県民の皆さんから、多くのお叱り、「意見」いただいている。真摯に耳を傾けていかなければいけない。

【細】**綱紀粛正**をしっかりと図りながら、職員向けの倫理規程を年内にも定め、職員向けの研修、相談窓口の設置・・・個人で苦しむような状況にならないよう「組織として対応していく。」



【細】元助役は、原発立地地域の有力者として知られていた。そうした人物が、福井県の幹部に金品を贈っていたことは何を意味するのか。意味もなく「金品を送る・もらう」はないはず。

【県】なぜ金品を渡していたのかは不明だが、職員が請託を受けたとか、元助役に便宜を図ったという事実は確認されなかった。

金品授受の動機に迫り切れていない...

◆山古志村の村長だった長島忠美衆議院議員を会長に、「全国災害ボランティア議員連盟」を立ち上げて、満十年が経ちました。地方議会議員から国会議員まで、会員は現在約五百名、超党派のネットワークです。

二年前に長島さんが急逝され、二代目会長は、兵庫県庁で防災局長として活躍された谷公一衆議院議員です。

秋に、十周年記念式典及び研修会を予定し、全国にご案内、多数の参加お申し込みをいただいていたのに、直前で台風十九号災害が起きました。：はい、主だった講師・スタッフともに現場出勤で、研修は延期です。

事務局長の私：秘書Eちゃんともども、たいへんでした。連絡、お詫び、キャンセル料支払い。そのうえ、とき直しで来年二月に新たに研修企画とご案内。今はそのお申し込みの受付真っ最中です。

「事務局長、誰か代わって！」の悲鳴は無視され続けです。長く同じ役に付くのは良くないですよ & 後継者育成は本当に大事な大仕事です。役得はただ一つ、「全国の仲間を得た」：です。

【細】森山氏が47年間も

「福井県客員人権研究員」を務めていた事に驚いた。任期2年だが「再任を妨げない」としても、**長すぎる。** 県が森山氏に特別な待遇を与え、**権を与えているような印象を生んで**いる。今回の金品授受という不適切な関係、俗にいう「ずぶずぶの関係」を生むことになった原因の一つだと思う。



県の委員制度の中に、長期間、再任を繰り返している委員が、他にどれくらいいるのか？また、審議会の委員などの**任期について、何らかの制限を設けては**どうか？

【県】審議会、懇話会の委員、延べ1591人のうち在任期間が10年以上20年未満の委員が140人、**20年以上の委員が14人**となっている。

委員等は、大学教授など高度な専門的知見を有する方に助言をいただく趣旨で選任しており、任期更新は、他に適任者がいるかなども考慮して、適切に判断していたと考えている。

【細】よほどの専門家であったとしても、後任育成が必要だ。

「この分では、人生もあつという間に終わりを迎えるのかなあ、やりたいこと、やっとなきゃ。」

と思っていたら、「人生百年時代」とのこと。なんと私はあと四十年あります。

なるほど、私の周りの先輩方は、若々しくて元気です。昔のイメージとは十歳くらいは若いですが、自分もかくありたいと思うのですが、**健康寿命が大事！**

暴飲暴食を避け、運動を心掛け、何より気持ちを明るく前向きにと、来年に向けて思う次第です。

今年も一年、ありがとうございました。来年も、どうぞよろしく願っています。



お読みいただき、誠にありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

★ ラジオ「丹南FM79.1」
「県議会 夢 通信」
1月25日(土) 午後4時～
(再) 26日(日) 午前10時～

細川かをり県政報告 令1.12
発行：福井県議会議員 細川かをり
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888

【細】県の今回の金品授受調査は、「必要最低限をきっちり調べた」と言われているが、県内外の人々に納得してもらうには、調査範囲をこれでもかと広げて、「袋をひっくり返して、もうホコリも出ないほど調べた」と示すことだ。

【県】関係が想定される部局の責任ある立場の部長、課長級等、30年以上の期間にわたり、存命する全ての職員を対象に調査を行った。

結果、処分該当者の判明、また、金品等のやり取りが関係部局の管理職就任以降であったということが確認できた。それによって、**必要な範囲についての調査を行えた**ものと考えている。

【細】抜本的な再発防止につながるよう国・電力事業者に対して、**会計制度の透明性**を高めるように、求めている。

【知】国に対し、今回の関西電力の件について厳しく指導・監督を行うように申し入れを行っている。

また、私は国の総合資源エネルギー調査会の分科会の委員なので、**電気事業の透明性・公平性の確保**を強く訴えてまいりたい。



細 家畜伝染病予防法施行規則には「人家、飲料水、河川及び道路に近接しない場所であつて日常人および家畜が接近しない場所」とある。

県 原則『発生農場等またはその周辺に埋却する』と定められており、養豚農家が確保した埋却候補地の中から選定。

細 殺処分した豚の埋設場所が「子どもたちの集団登校する歩道の脇」「小学校や多数の民家の近く」であり、不適切ではなかったか？

細 口蹄疫発生の際には、条件にあった土地がない場合、「国有林等の国有地の提供」、「農家が土地を購入した場合地代相当額の助成」、「地方公共団体の埋却用地確保の努力義務」といった埋却支援があった。牛ならば牧草地が使えられなくても、豚の場合は牧草地がなく場所がない！

いずれも子どもたちの安心安全で健全な暮らしのための対策を求めているので、採択すべきです・・・と、反論。



CSF 豚コレラ

2つの豚舎でCSFが発生し、約千頭の大変な豚舎が殺処分されました。養豚場の方々の埋設作業がどんなにか過酷だったか、察するにあまりありません。しかしながら、その埋設場所選定に関しては、問題があると思ひ、意見を述べました。

★消石灰★

処分された豚は、厚く消石灰を散布され、分厚いフレコンバック（1t袋）とシートに包まれて埋却されています。（さらにその上から盛土）

消石灰は強アルカリで、細菌・ウイルスを死滅させ、防臭効果のあるすぐれものです。（漆喰の原材料）ですから埋設地は、少なくとも、うちの「猪にほじくり返された田圃の畦」より無菌に近い状態かと思われまふ♪

子どもたちは今でも不安を口にすること、成長途中の多感な子どもたちに、どんな精神的影響があるか心配だ。せめてバス通学にするとか、きれいな花の咲く生け垣で仕切れないか？

・・・（などなど多々反論したうえで）

地域では、地下水への影響や埋設場所の今後を、「誰が責任をもって管理してくれるのか」と、大変心配している・・・などと質しました。

※県は初め、「埋却地に関する責任は土地の所有者（破産管財人）が行うことになっている」と答えましたが、一般質問に引き続き委員会でも県の関与を求め、「立ち入り禁止のフェンス」や「地下水も含めた水の検査」など、「管理の協力」を地元の方々と話し合っていくことになりました。

今後も厳しくチェックしてまいります。

- 請願第9号 安全な登下校に向け、警察や公的な関係機関の協力による事故や事件の抑止力が高められる施策の充実に関する請願
- 請願第10号 虐待の問題を抱えている子どもたちや家庭に対する支援体制の充実に関する請願
- 請願第11号 外国につながる子どもたちやその保護者に対する支援体制の構築に関する請願

● 請願第7号 老朽原発再稼働中止の意見書提出等を求める請願

古い設計の原発は、リノベーション（大規模改修）に限界があります。肝心の原子炉圧力容器がどうにもならないからです。鉄でできている原子炉圧力容器は、長期間中性子線を浴びると、材料の粘り強さが低下してもろくなる

ぜいか

「中性子照射脆化」が進みます。これは、「事故で冷却の必要が出てきたとき割れやすい」という原子炉の劣化です。

その劣化が全国一進んでいるのは建設後45年を超えた高浜1号機で、脆性遷移温度は現在約95度（←熱いうちは大丈夫でも、ある温度より低くなるともろくなるという境目の温度です）。つまり、高浜1号機の原子炉格納容器は95度より冷たくなるともろくなるということです。今後動かし続けるとさらにこの劣化は進みます。

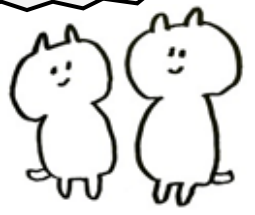
そんな原子炉が、何らかのトラブルで非常用炉心冷却水を注入しなければならなくなったらどうなるのか・・・冷却水温度は約40度です。考えただけでもぞっとします。

実際、世界の老朽原発では次々に原子炉圧力容器にヒビが見つっています。アメリカでは、20年の延長を許可された原発が、20年もたずに次々に閉鎖しています。

電力事業者は、いけるところまで、ひび割れが見つかるまで動かし続けたいのですが、若狭湾でそんな危険なチャレンジはやめてもらいたい。

リスクの高い老朽原発の再稼働はやめるべきです。

請願の賛否



県政について意見や要望がある方は、どなたでも議会に請願や陳情を行うことができます。請願や陳情の一部は議会に諮られ、議員の多数決で可決されれば採択されます。

今議会では、8本の請願審査が行われ、担当委員会の審議で「否決」された請願7本について、「否決に反対」する反対弁論を行いました。・・・ややこしいですね。（^_^）

要は、出された請願に賛成＝「請願の求める通りですよ」という事です。

ただ、反対弁論を行ったからと言って、結論がひっくり返ることはまずないのですが、「異論は表明したい。」「少しでもお聞きくださる方の心に響いていただければ。」と、一生懸命であることに変わりはありません。お読みいただき、ご理解賜れましたら幸いです。m(_)_m

- 請願第8号—①, ②, ③
- 関電原発に関わる不正資金還流の真相究明を求める請願
- ①全容解明・公表・再発防止徹底
- ②県警幹部調査
- ③議員調査

「真相究明」「調べる」というのは、犯人捜しをするという事ではないと思います。要は、白か黒かはつきりさせる事。疑惑を晴らすという事でもあります。

もし仮に、黒である人がいるのに調べないと、「黙っていれば逃げられる」と学習させてしまうことになってしまいます。

逆に何も無いのに、白なのに疑われるとしたらなんと不名誉なこと、調べてもらって身の潔白を示すべきです。

幕引きを急がず、きちっと調べましょう。いろんな団体に疑いの目を向けられているのに調べないのだとすると、県全体の評価を落とし、信用失墜になります。

疑う余地を残さぬようにするために、この請願は採択すべきです。